

令和元年度生徒指導集中対策及び生徒指導実践指定校「特別活動の取組事例」

学校名	熊野町立熊野中学校	校長	米谷 剛	生徒指導主事	平岡 健太郎
-----	-----------	----	------	--------	--------

取組事例名 『委員会活動の活性化』

取組における育てたい資質・能力					
人間関係形成		社会参画		自己実現	
「コミュニケーション能力」	2	「主体性」	1	「高い志」	3

取組のねらい

生徒一人一人が生徒会の一員として意識をもって活動できるよう、委員会活動を活性化させる。委員会を月に1回もしくはそれ以上もつことにより、委員会活動を行う「場」をつくとともに、目標設定およびその達成のための具体的取組、活動に対する振り返りを行い、生徒全員の活動につなげる。

取組の具体的内容	取組の創意工夫『つなげる』
----------	---------------

(1) 学級ファイルの作成
各学級・各委員会ごとに、記録用の紙ファイルを準備する。委員会に持参し、決定事項の記録をするとともに、取組に対する振り返りなども記録できるようにする。

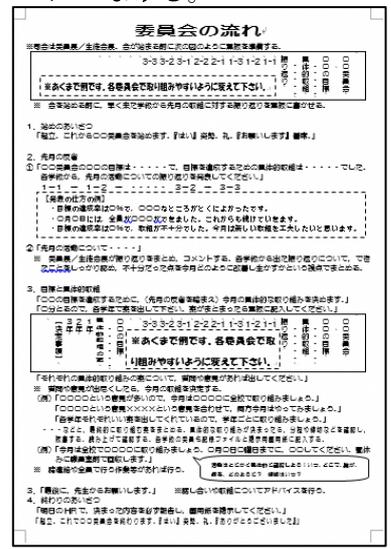
(2) 委員会の流れのある程度の統一
○ 委員長と担当教員とで、事前に打ち合わせ、「今月の目標」を決めておく。
○ 委員会では、委員長から提案された「今月の目標」を達成するための「目標を達成するための具体的取組」を各学年で話し合い、決定する。全学年統一でもよいし、各学年別の取り組みでもよい。
○ 次の委員会で取組に対する振り返りを行う。(翌月の「目標を達成するための具体的取組」も決定する。)

以上の3点を統一した上で、各委員会でこれまでの活動を大切にしつつ、柔軟に活動する。学期ごとの目標設定を月ごとに決める。ただし、目標は学期ごとでも、具体的取組は月別に決める。また、具体的取組は学年ごとに決める。

(3) 生徒会新聞「Dreams come true.」の作成
委員会の報告や執行部からのお知らせ等に活用する。

(1) 「今月の振り返り」を「翌月の目標」につなげる。
→ファイルを活用することで「変化」も確認できる。

(2) 「委員会の取組」を「学級活動」につなげる。



(3) 生徒会の取組を全校生徒につなげる。(伝える、広げる)

取組の成果と課題

- 目標だけでなく具体的取組を設定したことから、生徒から生徒への声かけが効果的に行われた。
- 「目標設定と振り返り」を繰り返したことで、成果と課題を見つけられる生徒が増えた。
- 委員会ごとに担当の教員が異なるため、取組内容に差が出た。